

### 第3回庄原市行政評価委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成28年1月13日（水）  
開 会：14時00分  
閉 会：15時55分
2. 開催場所 庄原市役所 第1委員会室
3. 出席委員 荒木和美 委員（委員長） ・ 加藤広行 委員（副委員長）  
積山豊通 委員 ・ 山根英徳 委員 ・ 齋藤万由美 委員  
山岡弥香 委員 ・ 小島由佳利 委員
4. 欠席委員 なし
5. 出席職員 農業振興課長 平岡章吾  
保健医療課長 荘川隆則  
商工観光課商工振興係長 中村雅文  
企画課長 兼森博夫  
企画課政策推進係 横山敬之
6. 傍聴者 1名
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

### 第3回庄原市行政評価委員会次第

平成28年1月13日（水）14：00から  
庄原市役所 5階 第1委員会室

#### 1. 開 会

#### 2. 委員長あいさつ

#### 3. 総括意見の集約

##### (1) 自治振興区活動促進補助金

##### (2) 高速バス活用による定住対策補助金

#### 4. 評価意見の検討

##### (1) 花いっぱい運動事業補助金

##### (2) 企業立地促進条例助成金

#### 5. 評価対象事業の説明

##### (1) 新規就農者育成事業奨励金

##### (2) 不妊治療費補助金

#### 6. その他

#### 7. 閉 会

## 会 議 経 過

### 1. 開 会

### 2. 委員長あいさつ

本日も異なる意見もしっかり発言いただき、最終的には委員会として意見をまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

### 3. 総括意見の集約

#### (1) 自治振興区活動促進補助金

##### 総括意見

##### 評価：その他の事業見直し

より効果的な制度となるよう、下記の事項について改善に努められたい。

①補助金の成果が広く地域に還元されることが重要であり、事業採択時に十分な審査をすること。

また、自治振興区が本来、果たすべき役割に適合する事業であるかについても審査すること。

②社会実験的に行う場合は、ハード事業も否定するものではないが、整備後の管理・活用状況について追跡検証を行うなど、適正な事業執行を確保すること。

③交付年度以降も事業担当課と連携し、必要に応じて助言等の支援を行うこと。

#### (2) 高速バス活用による定住対策補助金

##### 総括意見

##### 評価：事業終了

定住対策を目的とした本事業は終了との意見とするが、広域な本市において、高速バスは非常に重要な交通手段であり、定住施策以外の視点から本事業に代わる事業を速やかに実施すること。

・通勤、通学、通院者の交通確保対策を行うこと。あわせて経済的負担の軽減策も検討すること。

・市内（庄原～東城間等）利用者対策も検討されたい。

・今後も交通事業者と連携した事業に取り組むこと。

・制度が充分周知できるよう配慮すること。

### 4. 評価意見の検討

#### (1) 花いっぱい運動事業補助金

##### 【①拡充】の意見

##### 評価シート記載意見

交付要綱を制定し、目的等を明確にして全市的な展開を図ることは「花と緑のまちづくり」を一層促進することになると考えます。

委 員：評価シート記載のとおり。

##### 【②拡充】の意見

##### 評価シート記載意見

市の事業でありながら実施団体が限定されていることは好ましくないと思う。花への関心はそれぞれである。市全域に広め補助期間を限定し、事業可能な団体を募集することが望ましい。

委員：自治振興区が中心となり推進しないと拡大は難しいと思う。一時期、庄原市はスイセンを植えた時期もあり、現在も取り組んでいる地域もあり、補助期間を限定し自立を促していけばどうか。

### 【③拡充】の意見

#### 評価シート記載意見

庄原市の大きな観光資源である、備北丘陵公園、オープンガーデン等で知名度を上げており、今後も自然環境を生かした「花と緑のまち庄原」をどんどん前面に出していければ良いと思います。そのためにも地域をあげて取り組む制度に拡充すべきと考えます。

委員：庄原市がひとつになり、「花と緑のまちづくり」をすすめてほしい。

### 【④その他の見直し】の意見

#### 評価シート記載意見

要綱の改正などにより、希望する市内の多くの地域で同様の事業が実施されるよう期待したい。活動を通じて、地域を愛する気持ちや、分かち合いの気持ちが育つようなものであれば良いと思います。

地縁型のコミュニティだけでなく、テーマ型のコミュニティの育成にも役立ててもらいたいと思います。（対象者は拡充しても、予算の大幅な拡充を意味するものではありません。）

委員：評価シート記載のとおり。

### 【⑤その他の見直し】の意見

#### 評価シート記載意見

- ・花と緑のまちづくりは大切で良いことだと考えますが、補助事業の拡充で対応すべきことではないと思います。
- ・市内全域での取り組みとするためには、各振興区を主体にした運動として展開するべきと判断します。
- ・現在でも花壇等の取り組みを行っている地域は随分あるのでないかと思います。
- ・補助金頼みではなく、協働に基づくボランティア精神的な運動推進でないと定着しないのではないのでしょうか。

委員：30万円で29箇所となると一箇所あたり1万円程度となり、種子代等何らかの支援はあってもいいと考えるが、補助金に依存しすぎると継続しないのではないか。

### 【⑥その他の見直し】の意見

#### 評価シート記載意見

クリーン作戦等と併用して、各地域の自治会や子供会と一緒に取り組む体制にし、地域のつながり、環境整備につなげていけばよいと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

### 【⑦その他の見直し】の意見

#### 評価シート記載意見

地域で行う「道の日」「川の日」などの環境整備等、ほかの事業や、花と緑のまちづくり等との連携しての取り組みをして全市が美化されるとよいと思う。

委員：目的を明確にして実施をする必要がある。

－質問・その他意見－

委員：全域に拡大すると財政負担が大幅に増すことになるか。

事務局：補助率及び上限額の見直しを行い、薄く広く活用いただけるよう検討したい。

委員：30万円の総枠で行うのか。

事務局：100万円前後の総枠で取り組みを検証したいと考える。

委員：他の部署でも同様の取り組みをしているのではないか。他事業との連携も検討するべきである。

委員：拡充をする前に地域の既存の取り組みも調査するべきである。

#### －総括意見－

委員長：総括意見としては、「その他の見直し」とする。

委員長：要点としては、

- ① ボランティア精神、協働の精神を基盤とした事業であり全市展開を望む。
- ② 多様な主体が参画できるようにすること。
- ③ 交付要綱を制定し、目的や役割分担を明確にすること。
- ④ 補助期間の設定等により、自主的な取り組みに移行できるようにすること。
- ⑤ 他の同様の目的の制度等を調査し、整合性をもって事業を推進すること。

## (2) 企業立地促進条例助成金

#### －追加資料について事務局が説明－

事務局：市内企業・異業種間の情報交換の場については、市としては設けていないが商工会議所・商工会の部会等で行っている。

#### 【①拡充】の意見

##### 評価シート記載意見

企業誘致は非常に重要な取り組みだと思います。少子高齢化、人口減という大きな社会の変化の中で、非常に厳しい地域の状況が予想されますが、小さな努力も継続的に重ねるべきだと思います。他にも良い立地や好条件のライバル地域もあると思いますが、よい結果を期待しています。

委員：評価シート記載のとおり。

#### 【②拡充】の意見

##### 評価シート記載意見

- ・企業の誘致は市の発展・維持の面で重要な事業であると思います。
- ・他市等の工業団地に比較し、地理的不利条件のある本市では他の工業団地以上の条件が必要であると判断します。
- ・同時に企業誘致にどのような効果(雇用・生産額・税金)があったのか市民に周知することが、大切だと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

#### 【③拡充】の意見

#### 評価シート記載意見

庄原市経済の活性化と市民生活の安定のため、永年、企業誘致に努力され一定の成果はあったと考えますが、昨今の厳しい状況と、職員コストも考えると、近隣他市に負けない助成制度に見直し、早期に分譲整理する必要があるのではないのでしょうか。

委員：評価シート記載のとおり。

#### 【④拡充】の意見

#### 評価シート記載意見

助成金の拡充をし、勧誘を積極的に行い、企業誘致ができればよいと思います。

市民の雇用創出、地域経済の活性化が目的であれば、『環境がよい・働きやすい・住みやすい・子育てしやすい』自然に恵まれた住みやすい庄原市が必須だと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

#### 【⑤拡充】の意見

#### 評価シート記載意見

企業誘致は就業・定住促進のためにも重要だと思います。

企業が雇用する人、就業希望者など、運営面でも協力していただきたいと思います。

委員：本日の追加資料で、現状確認もされていることがわかった、今後も企業との関わりを持っていただきたい。

#### 【⑥拡充】の意見

#### 評価シート記載意見

企業誘致は、庄原市や市民にとって重要なことと思います。働く場所があるということは将来への希望もあるし、若者定住にも繋がると思います。そのためには、どのような企業を誘致すればよいのか、就業者の見込み、地域の産業を生かすなどある程度、市の考えを持ち積極的に発信するなど必要ではないかと思います。

委員：評価シート記載のとおり。

#### 【⑦拡充】の意見

#### 評価シート記載意見

企業誘致は、いつの時代でも必要であり重要な事項であると考えます。企業も新陳代謝的に新たに進出もあれば、退出もあるのが現実であり、新しい企業誘致を積極的に行い続ける必要があると思われます。

ただし、既存の企業にも目を向け続ける事を忘れてはいけないと思います。既存企業と何らかの連携・取引が生まれる様に情報交換を既存企業と誘致企業双方に提供する事も必要と考えます。

委員：評価シート記載のとおり。

#### －総括意見－

委員長：総括意見としては、「拡充」とする。

委員長：要点としては、

- ① 地域の発展のために重要な事業であり、継続的に取り組むこと。
- ② 他の地域の条件に勝る制度としてほしい。

- ③ 効果や意義を市民に発信すること。
- ④ 既存事業者へも目を向けること。これにより相乗効果も期待する。

## 5. 評価対象事業の説明

### (1) 新規就農者育成事業奨励金

事務局：評価シート作成時と状況が変化しており、担当課評価を変更し説明を行いたい。

準備型について、「終了とすることについて意見を求める。」としているが、J A庄原が65歳までの研修制度を開始したことから、国の制度の対象とならない45歳から64歳までの方を対象に助成事業を継続したいと考えており、あわせて意見を伺いたい。

委員：J Aの制度に奨励金制度はないのか。

事務局：J Aの制度は農家が研修先となり、研修先に対しては謝礼が支払われるが、受講者には奨励金制度はない。

委員：認定研修先は、庄原市以外の研修が多いのか。

事務局：市内では、県立農業技術大学校が対象であり、それ以外の農家については県の直接の指定箇所はない。

委員：平成24年度、平成25年度の3人の研修先はどこか。

事務局：1人が農家で2名が県立農業技術大学校である。

委員：新規就農者は、Iターン者、跡継ぎ等の属性どのような方が就農されているか。

事務局：ここで言う新規就農者は、農業法人への就労者は含まず、自営就農者のみを実績としており、市外からのIターン者等が約10人、跡継ぎが約30人である。

委員：J A庄原の研修制度は、他地域にない先駆的な取り組みか。

事務局：J A改革も見据えて他地域では、既に取り組んでいるところがある。

委員：J A庄原の制度は募集期間に入っているが、既に募集があるのか。

事務局：まだ募集はない。

委員：J A庄原の研修制度は、野菜のみが対象か。

事務局：収益性を勘案すると野菜が主となるが、米、畜産についても行っている。

### (2) 不妊治療費補助金

事務局：プラモニ意見について、所見を述べさせていただきたい。

自己負担については、広島市等遠方の医療機関への交通費、仕事への支障等、既に負担があり市としては「自己負担なし」との提案をしたい。

また、回数制限・所得制限については、県制度により制限されており、市は県制度の利用が前提となっており、市の制度でも回数等が制限される。

経済的負担を考えず、早めに検査を受けられる制度としたい。

委員：複数年に渡って申請される方もおられるのか。

事務局：長期間取り組まれる方もおられる。

委員：正職員から臨時職員等に変更されて治療されている方もおり、負担が大きいのも事実である。

委員：自分から情報収集しないと支援制度の情報が得られないと思うが、早い段階で情報がわかれば治療も早く取り組むことができる。

事務局：早い段階で取り組めば、通院回数の減少や母体への影響も軽減できる可能性もある。

委員：「自己負担なし」とする場合、市としてどのような説明をするか。

事務局：補助事業という性質上、本来なら一定の自己負担があるべきと考えるが、それ以上に交通費等の負担もあり、ご理解を願いたい。

委員：効果はどのように判断しているか。

事務局：全体の出生数のうち不妊治療を受けられた方による出生が24人に1人であり、少子化対策につながっていると考える。

委員：一般不妊検査が35歳までとあるが晩婚化が進み、遅くから望まれる方もおられると思う。

事務局：不妊治療が43歳を超えると非常に効果が難しくなる医療的な統計があり、早く治療に入っていただくための周知の意味もある。

委員：PRしている資料があれば提供いただきたい。

事務局：チラシを提供する。

委員：治療をされている方の生の声が資料提供いただけないか。

事務局：利用者の声は難しいが、先般新聞に特集された記事を提供したい。

## 6. その他

次回の評価委員会の日程について

委員長：次回第4回の会議は、平成28年1月26日午前9時から、いずれも庄原市役所5階第一委員会室で行う。

## 7. 閉 会